

第 20 号:通算 70 号  
(3月号)  
2019年3月1日

七里が丘子ども若者支援研究所

今を生きようみんな OK!

ホッとする一時へ Jazz piano 3月22日(金)pm6:30

## 親と子の絆 きっとつながる

2019.3.22  
open 18:00  
横須賀市はまゆう会館

Jazz piano  
Kodomo wa Kanata Supporting piano special concert

世の中には、いきづらさを抱えて生きる子ども達が、今、沢山います。我が子だからこそ母は悩み苦しむ、他の子がついつい羨ましくなったりする事も。

親と子の絆  
きっとつながる

でも、いつか我が子もきっと大丈夫と思える未来が来ることを信じているお母様へ、歌や演奏、そして書道パフォーマンスに乗せて応援歌をお届けします。

歌手、山田直子、舞臺、宮川由希子、武蔵野、長谷川かすみ、そして、練習と練習を繰り返すお母様達と共に行うピアノと書道パフォーマンス。毎日頑張っているお母さんへの応援歌をお届けします。

「子ども支援施設 七里が丘子ども若者支援研究所」主催  
ピアノと歌と書道パフォーマンス「親と子の絆」  
日時：2019年3月22日(金)開場18:00開演18:30終演20:30  
会場：横須賀市はまゆう会館(JR衣笠駅下車 徒歩約8分)  
料金：1,000円  
お問い合わせ：09072124055  
申し込み：http://happytown.ocn.ne.jp

弥生3月、多くの子ども若者が新しい動きを準備する季節です。一方社会の動きが活発になることで、自分を責め抑えざるを得ない人たちがいることを誰もが体験的しています。幸福感があふれる反面、悲しい思いをしている人たちがいるのです。この時期は「成功」と「失敗」という言葉が人々を分断してしまう悩ましい時期でもあります。

確かに、喜びも悲しみも親子や家族で、そして友や仲間で見分けることで、「喜びは2倍になり悲しみは半分になる」ことを、チコちゃんだけでなく？ 私たちは知っています。

一方、一般ピープルは国家施策(財政難、やっぱり親の責任でしょ…)をすなおに受け、子どもや若者の失敗感を自己責任と受け止めてしまう構造に身を置きます。

例えば虐待、親の家庭教育責任⇒“しつけ”⇒暴言暴力という構造の結果ではないでしょうか？ 家庭教育の責任に追い込む国家の悪意が背景にあります。

子ども支援、子育て親支援は社会保障です。

例えば不登校や社会的ひきこもり、親の“甘やかし”⇒ひきこもる子を育てる、との誤解を生み出しています。教育権や労働権を親の責任に押しつける国家の脆弱さが背景にあります。

社会課題に分断され自己責任に追い込まれ、親子の対立という国家の代理戦争を家庭が担っていると言っても過言ではありません。家庭は居場所、親子は信頼のセイフティーネットでありたいと思います。生きている幸せ、生きていく未来、それが家族であり家庭です。

## ♡♡コンサートを鑑賞ください♡♡ チケット販売中

### ☆コンサートの願い

世の中には、いきづらさを抱えて生きる子ども達が、今、沢山います。我が子だからこそ母は苦しみ、他の子がついつい羨ましくなったりする事も。“親と子の絆 きっとつながる”でも、いつか我が子もきっと大丈夫と思える未来が来ることを信じているお母様へ、歌や演奏、そして書道パフォーマンスに乗せて応援歌をお届けします。

☆日時 2019年3月22日(金)開場18:00 開演18:30 終演20:30

☆場所 横須賀市はまゆう会館(JR衣笠駅下車 徒歩約8分)

☆参加費 1,000円 チケットは滝田までお申し込みください

Tel:09072124055(SMSでOK)、メール [qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp)、メッセージ等

## ☆出演者紹介☆

♡山下直子 静岡県出身・東京都育ちのカントリーウエスタン歌手。1991年にロカビリー歌手・山下敬二郎と結婚、2011年山下敬二郎没後、ソロ活動を開始。ご息子の思春期からの生き辛さに寄り添いながら音楽活動を続ける。東京都町田市在住



♡岩河亜希子 国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒。在学中からロックやジャズに足を踏み入れ、楽譜のない自由な世界に魅了されていく。現在はピアノ講師業傍ら、ジャズ、クラシック、ロック、ゴスペル、カントリーなど様々なジャンルで活動中。小学3年生の娘の育児奮闘中。東京都町田市在住

♡長谷川ひろみ 3才から書道家の祖父に習う。横須賀書道会(高校時代に師範)、鎌倉総合書芸院などを経て、上野の森美術館などの展覧会に出展。実用書道の道に進み教室をスタートさせる。ジャパンエキスポパリ博覧会書道パフォーマンス(2017/7), 清水寺展示(同年12月), スイスジュネーブ国連本部(2018/9), 2020年東京オリンピック展示予定。17歳ご息子の個性的な生き方と寄り添いながら活動する。横須賀市在住

※3人は絆〜ず、TV東京「モヤさま」でパフォーマンス放映(昨年9月)

♡高比良秀一 31歳 武山保育園-武山小学校-武山中学校卒、クラーク記念国際高等学校(通信課程)-日本健育高等学院(サポート校)卒業 勤務先(株)ファンケルスマイル(勤続13年)ピアノを10才から始め、ジャズに進んで10年目。作詞作曲は5年目位から。趣味はイラスト、ゲーム。コミュニケーションに個性あり。横須賀市在住



♡高比良和枝 秀一さんの母として、社会(学校や医療や会社と地域)とのコミュニケーションを丁寧に結んできた。仕事やボランティア活動を継続しながら、音楽活動を親子で歩み現在に至る。横須賀市在住

♡小林由起 個性的で学校と合わない一男(高1)二女(中1、小4)の母親。鎌倉で初めての常設フリースクール、LargoラルゴNPO法人鎌倉あそび基地)のプログラムリーダー。自身の生きづらさ、幼少の頃からの精神疾患を乗り越え現在はカウンセラーとしても活動している。長男は東京大学異才発掘プロジェクトROCKET2期生として在籍中。鎌倉市在住



## 運営委員募集♥お集まりください in 横須賀応援団会議

☆運営委員会開催 日時:3月3日(日)午後2時~4時 場所:横須賀市市民活動サポートセンター 内容:3月22日当日、受付係、会場係、ステージ係等でコンサートを進行します。  
予約申し込み不要、自由参加です。運営委員は無償ですがチケット2枚提供します。

## コラム風 (最終回)ワンステップスクールの監禁脱走事件

僕は1月末にワンステップスクール代表者廣岡政幸さんに通信と共にお手紙を送りました。

「…子ども若者への支援活動は骨の折れる取り組みであると同時に、有意義でもあります。しかし常に死や暴力と背中合わせゆえ、僕たちの倫理観や社会観、ましてや既存の親や家族観では解決できない現実もあります。共に追いつかない関係づくりに勤めたい。…NPO やボランティア団体が行政と共に開かれた関係を築いてきた神奈川の実績ゆえ、一度立ち止まっていたいただき開かれ共に歩む関係構築をお願いいたします。」 ※お返事はありません(2/23)

ビジネス的アプローチを止め、青少年支援事業として行政や地域との共生事業へ転換するため、一度施設をクローズください。以下は周辺の取材からの声です。

- ◇この施設は基本お金がある家庭のご子息が入所。約月20万円を払える方がきているようですが、施設を出た後の「自立」が大変のようです。
- ◇この事件のようなことが幾つかあり、「この施設は大丈夫なのか」との問いはあるようです。内実は明らかにはならないのですが。
- ◇人権の視点が必要です。締め付け統率でおとなしくさせるのではなく、スタッフのスキルアップが不可欠です。支援が検証されることで事故が少なくなります。研修を通じて、人権意識を持ったスタッフ育成の習得が大切。 以上

## それぞれの風 小幡さん 第一子お誕生会

2/17 横須賀応援団会議

○安川有里さん おめでとうございます。夫が「小幡さんらしくていいな」って喜んでました、生き方が実に小幡さんらしくて。シルバーのスプーンを応援団会議一同からプレゼントします。ティファニーです。(わー素敵 by 小幡)、裏に名前が入っています。(銀のさじを回覧、一同「安川さんのセンスが抜群」と感嘆) 職人さんの手彫りです。お食い初めをこのスプーンで。(右手交写真)



○小幡沙央里さん 12月4日に生まれ、夜はあまり泣きません。名前は一葉(かずは)です。画数で決め、一をつけたかったのと緑っぽい感じで。〇ヘンリーの小説も意識して。親や周りを頼って、一緒に生きて行きます。子どもが欲しくて妊活し子どもをつくり生みました。もう一人女の子が欲しいです。事後報告になってしまって皆さんには申し訳ないとは思いつつ、何が起こるかは自分にもわからなかったもので、生まれてからのご報告となりました。スイマセン、生んじやいました。子どもをかかえつつも頑張ってやっていきたいと思えます。可愛がってください。その日は市議会中継を見てランチへ行き、午後も議会中継を見ながら産院へ、2時間で生みました。母もビックリでした。4月から保育園、6年間通います。子どもはかわいい、他の子もかわいい。思いのほか皆がすんなり、この状況を受け止めてくれています。市議会議長・副議長さんにもあいさつをして「議会は多様性の時代だから」と受け止めて頂いています。遅く生きて行きます、ありがとうございました。

○龍崎明信さん 小幡さんとは2012年から交友しています。出産までの詳細が追いついていないので、今一理解ができていません。信じられない部分もあるんですけど、その姿を見ると何かおばっちゃんらしく感じるんで…。何と声をかけてよいのか(笑)(めでたいの…by 小幡)。戸惑いましたけど、この姿を見るとしっくりします。おめでとうございます。(P4 集合写真)



## 市民力あふれ、0歳児から70代までが集う in 横須賀応援団会議

○高島さん NPOが受理されて、コーディネータも決定して準備完了です。たすき塾の子のおばあちゃんが火事で亡くなりました。今は母親が2人の子どもを育て、火が怖くなり親子で困っている現状が悩ましいです。受験の子はいなかったんですが20人ですので、来年への取り組みをどうするか…。生活福祉と就学援助家庭への学習支援の案内方法で課題が出ています。(小幡 & 加藤さんが悩みながら、就学援助の通知と共に案内送付へと情報交換がいくつか進みました) 忙しくなっています。



○伊藤さん 外から見れば穏やかに娘と住んで、やる事があっていい感じです。なるようになる、心境です。ここでやることをお手伝いしたいです。 ※小幡さん授乳を含めここで退席

○橋本さん 親が孤立しまう結果がワンステップスクール事件、痛ましい。昨年6月から親の会(ゆずり葉)を逗子でやっております。7回で約70人が集まってくれています。初めは肩に力が入っていたんですが、今は集まってくくださった方が互いに話し支え合ってくださいっています。いらっしゃっているお母様が落ち着き、それが子どもにいい影響だったと報告してくれました。また保護者会でこの会のことを話して下さって、いらっしゃった方が広げていただき嬉しいことでした。

○Hさん 高校2年生です。加藤さんのインターンでいろんな所へ行っています。駅頭で配っていたチラシ発信に感銘して。議会の傍聴、浦賀奉行者まつり、公園調査にも行ってます。

○Nさん 24歳、苦労して就職し1年経ちました。案内を頂いてこの会議を知り、この経験をシェアしたく、来ました。 ※NPO アンガー時代からのつかず離れずの滝田との関係です

○龍崎さん ひきこもり支援、幸せになるための支援には疑問です。そもそも幸せとは個人の価値観、幸せとは何か分かっていないとできないことです。他人がその人の幸せをきめられない、幸せは自分で見つけていく。だから教育は幸せを見つけるためにあると考える昨今です。

4月から支援教育の業界、NPOの仕事へ進みます。今研修を荻窪で受けています。セラピーを受ける子どもに寄り添う研修です。集中力を付けるトレーニング、社会性、自分の要求を人に伝えられる、何をしてほしいのかを自分で言葉にする等。社会で生きていくためにです。自閉症等で行き場を失ったり、追い込まれたりしないようにする仕事になります。そうならないために支援を提供する、教えることが仕事です。自分の中でイメージして社会へつながる手段を、それを手に入れられる教育って何だろうと考えながら…。ということで、**ブカツレット第3集(左写真)**を発行しました。



**3月予定** ○1日(土)am10~pm19: 楠の木学園25周年記念の集い(3部構成) 3日(日)pm2: 横須賀応援団会議▶マジェスティック・リトルエジソン&きつとつながるコンサート運営委員会 in 横須賀サポセン  
○9日(土)pm2: 思春期講座③講師 in Largo ○22日(金)pm6:30~8:30親と子の絆きつとつながる Jazz piano コンサート ○31日(日)pm1: 10逗子応援団会議・ひきこもり発信プロジェクト&ゆずりはの会 in 逗子市市民交流センター ○鎌倉市教育センター: 6日(水), 8日(金)富士塚小, 12日(火)大船小, 13日(水), 15日(金)深沢小, 19(火), 26日(火), 27(水), 29日(金) ○Largo: 5日(火)、14日(木)  
○研究所相談: 7日(木), 14日(木)

【発行編集: 滝田衛】住所: 鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 携帯: 09072124055

●メール: [qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp) ●研究所ホームページ: <http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団フェイスブック: <https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>